

<401> ワークシートで「見える化」して学習評価するコツは？

学習活動段階では身についた学力が見えにくいので、設計と完成作品との差異をワークシートで「見える化」して、学習評価するコツを紹介したいと思います。

身についた学力を「ふり返り」で「見える化」して、自分の授業にあった学習評価を模索してはいかがでしょうか。

資料：作品の完成時点で、設計と実習の学習活動を「ふり返り」するワークシートの例

- 1 使用目的や使用条件を確認してみよう。
- 2 完成した作品と設計図とを比べてみよう。
 - ①寸法 ②工夫したこと ③設計と違ったところ
- 3 作品について、友達からの2のコメント（相互評価）

相互評価で「見える化(客観化)」
- 4 製作を通して、うまくできたこと・できなかったこと等をふり返ろう
- 5 「4」でふり返ったことから、どんな力が身についたかをかいてみよう。

「ふり返り」で「見える化(客観化)」
- 6 自分の作品を実際に使って評価しよう。

理論と実践の差異で学びを「見える化」

 - (1) 設計した時の使用目的・条件の再確認
 - (2) 実際に使ってみて、設計で大切なことってなんだろう
 - (3) 実際に使ってみて、製作で大切なことってなんだろう
- 7 授業で体験したこと、学んだことを、これからどう生かしていくか
場面・作業をかいてみよう。

題材の学習活動をふり返って、学習成果を今後の生活でどう生かすかの
観点「主体的に学習に取り組む態度」の学びを「見える化」